



かどわきっ子

自発的・自治的な活動その2

前回、特別活動の充実を通してどんな子に育てほしいかについて書きました。今回はその続き、「代表委員会」についてです。

代表委員会には、本校では3年生以上の学級代表と各委員会の代表が出席して、学校をよりよくする方法や集会や行事などをよくするための話し合いが行われます。

先月15日に、今年度1回目の話し合いをしました。議題は「**よりよい学校にしよう**」。キラキラ輝くかどわきっ子になるために、どんなことができるようになりたいかということを話し合いました。

子どもたちは、次の三つを頑張ると決めました。

- ① あいさつ、返事をレベルアップさせたい。(笑顔で、大きな声で)
- ② 友達を大切にすることができるようにになりたい。(思いやり、仲良く、間違いを笑わない)
- ③ 協力して活動することができるようにになりたい。(掃除、行事)

どれも、すばらしいですね。どんな学校にしたいか、どんなことを頑張るか。話し合いをしたこと自体に意義があり、そこに向けてがんばることに意義があります。まさに「**なすことによって学ぶ**」を基本とする特別活動です。御家庭でも話題にしていただけたらと思います。そうすることで、学校と家庭が同じ方向を向いて子どもと関わることができます。

平和学習

今年度、平和学習の一環として、「被爆家族・交流証言者等派遣事業」に申込みをしました。

これは、長崎市の原爆資料館の横にある「国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館」が行なっている事業の一つで、一昨日（10日）

被爆者の故山脇佳朗様について、「交流証言者」の廣瀬様においでいただき、お話を伺いました。

今回の学びは、内容の難しさを考慮して4～6年生を対象にしてお話ししていただきました。

廣瀬様は群馬県の御出身で、縁あって平成24年に長崎に来られ、原爆の惨状や実情を後世に伝えたいと思い立って、そこから勉強を始め、平和案内人などの活動を始めましたそうです。志の高さに頭が下がる思いです。

子どもたちは、廣瀬様のお話や実際の写真などを見て、改めて戦争の悲惨さや平和の大切さを感じ取っていました。明日は、4年生が長崎で実際に学んでいます。

前回も書きましたが、戦争や平和というもの、子どもたちにとって非日常であり、実感を伴うことができません。学びの機会をもつこと、誰かと語り合うことが平和を希求する心を育てることにつながります。ぜひ、お子さんとの話題にしてください。

お知らせ

- ◆ 6月23日(月)～29日(日)は、「かどわきっ子の心を見つめる教育週間」です。期間中は学校を開放していますので、いつでも参観されてください。
- 27日(金)は、授業参観・学級部会、学校支援会議も予定されていますので、よろしくお願いいたします。
- ・ 授業参観 13:55～14:40
その後学級部会
- ・ 学校支援会議 14:50～15:40
- ◆ 事務の山口祐子先生が、出産のため明日からお休みされます。
- 山口先生がされていた業務は、早稲田先生がそのまま引き継がれます。事務に関するお尋ねは、早稲田先生にお願いします。